

ワークライフバランス（仕事と生活の調和）に関する調査

<ご協力のお願い>

三重一般同盟は、仕事暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらすことができるよう『ワークライフバランス』の推進をこれからの最重要課題と認識し取り組んでいくことを確認しています。そこで、全組合員の皆さんにご協力を要請し、ワークライフバランスに対する意識や要望などの調査をおこない実態に即した具体的方針を提起していく計画です。

この調査は、『仕事と生活の両立』の実現をはかるため、労働組合の方針づくりを目的としたもので無記名方式、お答えはすべて統計的に処理されますので、あとあとご迷惑をおかけすることはありません。お忙しいところを恐縮ですが、よろしくお願い申し上げます。

なお、集計結果は、三重一般同盟では全体結果とクロス集計まで発表しますが、加盟組合別は全体集計のみの報告となりますので個人を特定することはできず、個人情報の保護に徹底を期します。

2008年8月

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 育児・介護の休業・休暇制度の充実 | 2 託児所を設置するなどの子育て支援 |
| 3 長時間労働を常識とする企業風土の改革 | 4 フレックスタイムなど柔軟な働き方を導入 |
| 5 年次有給休暇の取得促進 | 6 正規、非正規社員の処遇均等化 |
| 7 男女の処遇均等化 | 8 経営者の意識改革 |
| 9 その他 [|] |

< 労働時間・年次有給休暇について >

- Q - 6 あなたは、会社・事業所での労働時間について「働きすぎ」だと思いますか。
- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |
- Q - 7 あなたの所定外労働時間（残業、休日出勤など）は月平均何時間ですか。
- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1 ない・ほとんどない | 2 20時間まで | 3 21～40時間 |
| 4 41～60時間 | 5 61～80時間 | 6 それ以上 [|
| | |] |
- Q - 8 あなたは、サービス残業（超過勤務手当が支給されない残業）をおこなったことがありますか。
- | | | |
|------|----------|----------|
| 1 ない | 2 ときどきある | 3 恒常的にある |
|------|----------|----------|
- Q - 9 あなたは、1年間に年次有給休暇をどのくらい取得していますか。
- | | | |
|--------|----------------------|----------------|
| 1 とらない | 2 [%]程度取得する | 3 付与日数の全てを取得する |
|--------|----------------------|----------------|
- 有給取得率とは（1年間の取得数÷1年間の付与日数×100％）
- Q - 10 あなたは、年次有給休暇の完全取得をするうえで必要と思うことは（回答は三つまで）
- | |
|---|
| 1 「上司が取らない」「他の人に迷惑がかかる」など取得しにくい職場の雰囲気を変える |
| 2 取得予定がない人には取得勧奨や計画取得をすすめる |
| 3 ゴールデンウィークやお盆・年末年始休暇と合わせ連続休暇を取得できるようにする |
| 4 職場内において「有給休暇取得予定表」等を設置し見える化をはかる |
| 5 いつ病気で休まなければならないなどの不安を解消するため「病気休暇」を設ける |
| 6 育児や家事への対応ができるよう「半日有給制度」を設ける |
| 7 過重労働の防止や働く意欲を高めるためリフレッシュ休暇を設ける |
| 8 その他 [|
| |
|] |

< 育児・介護など両立支援について >

- Q - 11 あなたは、子育てや介護と仕事の両立を阻害していることは何だと思いますか。（回答は三つまで）
- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 長時間労働 | 2 育児・介護休暇制度が利用しにくい |
| 3 職場での結婚・出産退職の慣行 | 4 休業時の経済的保障が不十分 |
| 5 職場や上司の無理解・非協力 | 6 保育・介護の施設やサービスが不足 |
| 7 「男は仕事、女は家庭」という考え方 | 8 在宅勤務制度など多様な働き方ができない |
| 9 その他 [|] |
- Q - 12 子育てや介護は「女性中心」でおこなわれているのが現実ですが、ヨーロッパのように「男性の積極的参加」が必要と思いませんか。
- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |
| | 5 わからない |
- Q - 13 あなたは、子育てや親の介護が必要な時期に育児・介護休暇休業制度を活用しますか。
- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 すると思う | 2 しないと思う | 3 わからない |
|---------|----------|---------|
- Q - 14 あなたは、育児・介護休暇休業制度について何を望みますか。（回答は一つ）
- | |
|------------------------------|
| 1 制度を利用しやすい職場の環境を整備する |
| 2 制度を利用しても評価が下がらないようにする |
| 3 休暇の日数を法定以上に増やすなどの制度の充実をはかる |
| 4 その他 [|
| |
|] |
- Q - 15 あなたは、子育てや親の介護が必要な時期に個人の置かれた状況に応じて多様で柔軟な働き方が選択できるとすると何を選びますか。（回答は一つ）
- | | | |
|---------|---------|--------------|
| 1 短時間勤務 | 2 在宅勤務 | 3 フレックス勤務 |
| 4 テレワーク | 5 その他 [|] |
| | | 6 関係ない・わからない |
- テレワークとは情報通信技術（IT）を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方

< 処遇の均等化について >

Q - 16 正規社員と非正規社員の格差が社会問題となっていますが、会社内においてこれを改善するには何が必要だと思いますか。(回答は二つまで)

- 1 労働時間が正社員と変わらない場合は正社員に無条件で引き上げる
- 2 パートタイマーなどで本人が希望すれば正社員に登用する
- 3 短時間勤務しかできない人に対しては短時間正社員制度を導入する
- 4 能力や意欲のある非正規社員には正社員と同等な処遇を保障する
- 5 安易に派遣労働者を採用しない
- 6 その他 []

Q - 17 男女雇用機会均等が法律では整備されていますが、あなたの会社・事業者では男女の処遇に格差があると思いますか。(回答は二つまで)

- 1 性による格差は無いと思う
- 2 賃金やボーナスなど経済面で男性の方が優遇されている
- 3 昇格・昇進などの待遇で男性の方が優遇されている(管理職になる女性が少ない)
- 4 女性は仕事内容で能力を発揮したり意欲的に働ける状況になく男性の方が優遇されている
- 5 人事評価の面で男性の方が優遇されている
- 6 会社内の教育機会や能力開発の面で男性の方が優遇されている
- 7 その他 []

< 会社・事業所に対して >

Q - 18 今お勤めの会社・事業所を辞めたいと思ったことはありますか。差し支えなかったらその理由もお聞かせ下さい。(回答は一つ)

- 1 辞めたいと思ったことはない
- 2 賃金やボーナスが不満で辞めたいと思ったことがある
- 3 残業や休日出勤などで労働時間の長いことが不満で辞めたいと思ったことがある
- 4 仕事内容が不満で辞めたいと思ったことがある
- 5 上司や同僚などとの人間関係が問題で辞めようと思ったことがある
- 6 その他 [] の理由で辞めたいと思ったことがある
- 7 答えたくない

Q - 19 あなたは、今の会社・事業所で「働きやすさ」、「働きがい」のどちらを求めますか

- 1 働きやすさ
- 2 働きがい
- 3 わからない

Q - 20 あなたは、仕事、家庭(育児などを含める)、プライベートな時間(趣味など)の優先度をどのようにお考えですか。

- 1 仕事優先
- 2 家庭優先
- 3 プライベートな時間優先
- 4 仕事と家庭優先
- 5 仕事とプライベートな時間優先
- 6 家庭とプライベートな時間優先
- 7 仕事と家庭とプライベートな時間を両立

————— ご協力ありがとうございました —————